

((重点項目))

- 1、 川西市として、憲法遵守・住民が主人公・基本的人権を堅持、遂行することを要求します。
 - ① 市として、憲法遵守を遂行すること
 - ② 「安保法制」「秘密保護法」「共謀罪」、憲法違反の法律は廃止するよう国に対して意見を述べること
 - ③ 社会保障費削減のための「医療と介護の総合法」の抜本的見直しを行うよう国に対して意見を述べること
 - ④ 年金引き下げを行わないよう国に対して意見を述べること
 - ⑤ 「TPP」は、反対するよう国に対して意見を述べること
 - ⑥ 「原発再稼働」反対を国に対して意見を述べると共に「原発ゼロ」を目指すこと
 - ⑦ 「マイナンバー制度」を国に対して中止を求めること
 - ⑧ 住民の命と暮らしを守り・支える立場で国に対して意見を述べること、自治体として国の悪政の防波堤となる立場に立ちきること

- 2、 上記「1」に記しているよう、川西市として市政を運営・推進することを要求します。
 - ① 憲法を根幹にして、法律を解釈し実行すること
 - ② 市民の声・願いを尊重し、政策に生かすこと
 - ③ 地方自治法通り、住民の福祉の増進を基本に、まちづくりは、十分な情報提供、説明責任、住民との意見交換、まちづくりに於いて「川西市参画と協働のまちづくり条例」に則って進めること
 - ④ 南海トラフ巨大地震に備え、市としての「防災・減災のまちづくり」を進めること
 - ⑤ 自衛隊への「こどもの名簿提供」、「トライやるウィーク参加」を止めること

- 3、 世代交代・世代継承できるまちづくりをおこなうことを要求します。
 - ① 「市立川西病院」を公立病院として堅持し、地域医療を確保すること・北部に医療の空白地をつくってはならない。市の構想(案)は一旦白紙にもどし、2015年度発表の計画通り、北部での建替えを基本に1市3町で考えていくこと
 - ② また、合計特殊出生率の引き上げ、少子化・高齢化への歯止めをかけるための抜本的な取り組みを強化すること
 - ③ まずは、市の待機児童ゼロをめざし、切れ目のない子育て支援をおこなうこと(4月1日時点で、定員以上のこどもを入所させての数字になっていること、年度途中で200人を超える待機児童が発生していることをしっかりと考慮すること)
 - ④ 市立幼稚園・保育所を廃止せず、耐震改修など必要な対策を行うこと。公共施設を廃止する時は、住民の要望を実現するために、利用促進すること
 - ⑤ 子育て・教育施設配置の地域間格差を是正すること
 - ⑥ 中学校給食は当初の予定通り、「自校直営方式」を基本に進めること
 - ⑦ 「高齢者お出かけ促進事業」を復活すること
 - ⑧ 「中央北地区開発」については、この間の歴史的総括を行うこと
また、「PFI事業」「包括契約」などの進め方の不透明さ、責任の先送り政策については改めること
 - ⑨ 議会との連携を民主的に行うこと

4、 川西市としての組織を成長・発展させていくべき取り組みの構築を要求します。

- ① 公務を十分遂行できる職員の定数管理、組織作りを行うこと
- ② 「官製ワーキングプア」防止の抜本的な対策を講じること
- ③ トップダウンでの行政運営のあり方は是正すべきこと
- ④ パワハラなど様々なハラスメントの実態把握・是正にむけた取り組み・システム作りを行うこと
- ⑤ 民主的な組織構築のための取り組みを行うこと

5、 川西市として、財政の考え方と使い方の透明性と明確化を担保することを要求します。

- ① 市民が理解・納得できるよう、情報提供、説明責任、住民との意見交換、まちづくりに於いて「川西市参画と協働のまちづくり条例」を生かし進めること
- ② 経済的格差が広がっている現状への対策、貧困者（児）・格差是正への取り組みを行うべき
- ③ まちづくりとして、少子化、高齢化、経済対策への対応をするため、抜本的・総合的施策体系の構築と財政投入を行うこと
本来の地方自治体の役割を果たすこと
- ④ 公共施設や未利用地は、市民の財産であるから、市が勝手に処分することがないように、情報提供、説明責任を果たし、市民本位で進めていくこと